

一般社団法人 日本医学会連合

<2019 年度>

事業報告書

決算報告書

監査報告書

自 2019 年 4 月 1 日

至 2020 年 3 月 31 日

I. 組織の状況

1. 会員数

136 学会（2020 年 3 月 31 日現在）

2. 2019 年度 新規入会の状況

4 学会

日本女性医学学会

日本てんかん学会

日本インターベンショナルラジオロジー学会

日本内分泌外科学会

II. 役員及び委員会名簿

1. 会長・副会長・理事・監事

会長

門田 守人 堺市立病院機構

副会長

社会部会 岸 玲子 北海道大学
臨床内科部会 門脇 孝 虎の門病院
基礎部会 飯野 正光 日本大学
臨床外科部会 森 正樹 九州大学

理事

基礎部会 今井由美子 医薬基盤・健康・栄養研究所
基礎部会 成宮 周 京都大学
基礎部会 宮園 浩平 東京大学
社会部会 大江 和彦 東京大学
社会部会 蒨田 香苗 杏林大学
社会部会 遠山 千春 筑波大学
臨床内科部会 池田 康夫 早稲田大学／慶應義塾大学
臨床内科部会 稲垣 暢也 京都大学
臨床内科部会 春日 雅人 朝日生命成人病研究所
臨床内科部会 小池 和彦 東京大学
臨床内科部会 小室 一成 東京大学
臨床内科部会 寺本 民生 帝京大学
臨床内科部会 名越 澄子 埼玉医科大学
臨床外科部会 苛原 稔 徳島大学
臨床外科部会 岩本 幸英 九州労災病院
臨床外科部会 北川 雄光 慶應義塾大学
臨床外科部会 齊藤 光江 順天堂大学
臨床外科部会 瀬戸 泰之 東京大学
臨床外科部会 森山 寛 東京慈恵会医科大学

監事

基礎部会 岩尾 洋 四天王寺大学
社会部会 秋葉 澄伯 鹿児島大学
臨床内科部会 矢富 裕 東京大学
臨床外科部会 里見 進 日本学術振興会

2. 委員会名簿

(1) 総務委員会

【委員長・担当副会長】

森 正樹（副会長） 九州大学

【委員】

井上真奈美 国立がん研究センター
大野 茂男 横浜市立大学
掛地 吉弘 神戸大学
金井 隆典 慶應義塾大学
小室 一成（理事） 東京大学
瀬戸 泰之（理事） 東京大学
寺本 民生（理事） 帝京大学
遠山 千春（理事） 筑波大学
丸橋 繁 福島県立医科大学

(2) 財務委員会

【委員長・担当副会長】

門脇 孝（副会長） 虎の門病院

【委員】

大江 和彦（理事） 東京大学
黒川 峰夫 東京大学
滝川 一 帝京大学
伴 信太郎 愛知医科大学

(3) あり方委員会

【委員長・担当副会長】

門脇 孝（副会長） 虎の門病院

【委員】

飯野 正光（副会長） 日本大学
池田 康夫（理事） 早稲田大学／慶應義塾大学
磯 博康 大阪大学
岩中 督 埼玉県病院事業管理者
春日 雅人（理事） 朝日生命成人病研究所
加藤 聖子 九州大学

岸 玲子 (副会長) 北海道大学
齊藤 光江 (理事) 順天堂大学
南学 正臣 東京大学
野田 哲生 がん研究会／がん研究所
森 正樹 (副会長) 九州大学
山内 敏正 東京大学

【オブザーバー】

門田 守人 堺市立病院機構

(4) 広報委員会

【委員長】

大江 和彦 (理事) 東京大学

【担当副会長】

森 正樹 (副会長) 九州大学

【委員】

井出 博生 東京大学
岡田 随象 大阪大学
小池 和彦 (理事) 東京大学
又木 雄弘 鹿児島大学
宮園 浩平 (理事) 東京大学
向井まさみ 国立がん研究センター

(5) 研究推進委員会

【委員長・担当副会長】

飯野 正光 (副会長) 日本大学

【委員】

苛原 稔 (理事) 徳島大学
小室 一成 (理事) 東京大学
齊藤 光江 (理事) 順天堂大学
遠山 千春 (理事) 筑波大学
名越 澄子 (理事) 埼玉医科大学
成宮 周 (理事) 京都大学
宮園 浩平 (理事) 東京大学

(5-1) ゲノム編集技術の医学応用に関する検討作業部会

【座長】

松原 洋一 国立成育医療研究センター

【担当副会長】

飯野 正光 (副会長) 日本大学

【委員】

石井 良和 東邦大学
伊藤 達男 岡山大学
稲澤 譲治 東京医科歯科大学
井上 治久 京都大学
苛原 稔 (理事) 徳島大学
北島 康司 大阪大学
田中 真二 東京医科歯科大学
茶山 一彰 広島大学
戸田 達史 東京大学
檜山 英三 広島大学
三浦 巧 国立医薬品食品衛生研究所
村上 晶 順天堂大学
森尾 友宏 東京医科歯科大学

(5-2) リトリート企画委員会

基礎部会 Rising Star リトリート企画委員会

【委員長】

野崎 智義 (日本寄生虫学会) 東京大学

【担当副会長】

飯野 正光 (副会長) 日本大学

【委員】

岡部 繁男 (日本解剖学会) 東京大学
嶋田 一夫 (日本生化学会) 東京大学
高岡 晃教 (日本免疫学会) 北海道大学
藤田 直也 (日本癌学会) がん研究所

【若手企画委員】

岩永 史朗 (日本寄生虫学会) 東京医科歯科大学
大西 信幸 (日本癌学会) 国立がん研究センター
久保田義顕 (日本解剖学会) 慶應義塾大学

西城 忍 (日本免疫学会) 千葉大学真菌医学研究センター
名黒 功 (日本生化学会) 東京大学

社会部会 若手リトリート実行委員会

【委員長】

桑原 恵介 帝京大学

【副委員長】

内田 満夫 群馬大学

【委員】

秋山 有佳 山梨大学

岩田 要 法務省矯正局

遠藤 源樹 順天堂大学

鎌田 真光 東京大学

莉田 香苗 (理事) 杏林大学

小西 祥子 東京大学

澤井 直 順天堂大学

曾根 博仁 新潟大学

遠山 千春 (理事) 筑波大学

原 広司 京都大学

原田 浩二 京都大学

山本 琢磨 兵庫医科大学

(6) 研究倫理委員会

【委員長】

市川 家國 信州大学

【副委員長】

苛原 稔 (理事) 徳島大学

【担当副会長】

飯野 正光 (副会長) 日本大学

【委員】

小野 稔 東京大学

莉田 香苗 (理事) 杏林大学

小池 和彦 (理事) 東京大学

後藤 雄一 国立精神・神経医療研究センター

代田 浩之 順天堂大学

中山 和久 京都大学

丸山 英二 神戸大学

(6-1) 旧優生保護法の検証のための検討会

【委員長】

市川 家國 信州大学

【担当副会長】

飯野 正光 (副会長) 日本大学

【委員】

青木 清 生存科学研究所／上智大学

浅井 文和 日本医学ジャーナリスト協会

苛原 稔 (理事) 徳島大学

岡野 栄之 慶應義塾大学

甲斐 克則 早稲田大学

神谷 恵子 神谷法律事務所

荻田 香苗 (理事) 杏林大学

小池 和彦 (理事) 東京大学

千代 豪昭 クリフム夫律子マタニティクリニック臨床胎児医学研究所

野村 恭子 秋田大学

李 廷秀 東京医療保健大学

和田恵美子 社会福祉法人至誠会

(6-2) 臨床研究法のあり方検討委員会

(再編成の予定)

【委員長】

永井 良三 自治医科大学

【副委員長】

市川 家國 信州大学

【担当副会長】

飯野 正光 (副会長) 日本大学

【委員】

浅井 文和 日本医学ジャーナリスト協会

伊佐山浩通 順天堂大学

今村 聡 日本医師会

苛原 稔 (理事) 徳島大学

大橋 靖雄 中央大学

奥山 虎之 国立成育医療研究センター
小野 稔 東京大学
金井 弥栄 慶應義塾大学
栗山 進一 東北大学
小池 和彦 (理事) 東京大学
児玉 安司 新星総合法律事務所
代田 浩之 順天堂大学
高橋 秀人 国立保健医療科学院
高本 眞一 慶応義塾大学 / (福) 賛育会
仁尾 正記 東北大学
藤原 俊義 岡山大学
増井 徹 国立精神・神経医療研究センター
三上 幹男 東海大学
矢富 裕 東京大学
山本 晴子 国立循環器病研究センター
米村 滋人 東京大学

【オブザーバー】

磯部 光章 榊原記念病院

(7) 医療ビッグデータ委員会 (仮称)

(現名称：医学におけるビッグデータを考えるワーキンググループ)

【委員】

今中 雄一 京都大学
大江 和彦 (理事) 東京大学
大島 明 大阪国際がんセンター
門脇 孝 (副会長) 虎の門病院
荻田 香苗 (理事) 杏林大学
岸 玲子 (副会長) 北海道大学
瀬戸 泰之 (理事) 東京大学
遠山 千春 (理事) 筑波大学

【オブザーバー】

秋葉 澄伯 鹿児島大学

(8) 教育および人材育成検討委員会

【委員長】

池田 康夫（理事） 早稲田大学／慶應義塾大学

【担当副会長】

岸 玲子（副会長） 北海道大学

【委員】

市原 学 東京理科大学

稲垣 暢也（理事） 京都大学

今井由美子（理事） 医薬基盤・健康・栄養研究所

今中 雄一 京都大学

大滝 純司 北海道大学（東京医科大学）

小西 靖彦 京都大学

齊藤 光江（理事） 順天堂大学

清水 孝雄 国立国際医療研究センター

瀬戸 泰之（理事） 東京大学

成宮 周（理事） 京都大学

渡辺 知保 国立環境研究所

専門医制度小委員会

【委員長】

瀬戸 泰之（理事） 東京大学

【幹事】

今中 雄一 京都大学

【委員】

稲垣 暢也（理事） 京都大学

大滝 純司 東京医科大学

小西 靖彦 京都大学

齊藤 光江（理事） 順天堂大学

研究者育成小委員会

【委員長】

市原 学 東京理科大学

【幹事】

渡辺 知保 国立環境研究所

【委員】

今井由美子（理事） 医薬基盤・健康・栄養研究所

今中 雄一 京都大学

小西 靖彦 京都大学

清水 孝雄 国立国際医療研究センター

成宮 周（理事） 京都大学

(9) 診療ガイドライン検討委員会

【委員長】

南学 正臣 東京大学

【担当副会長】

門脇 孝 (副会長) 虎の門病院

【委員】

稲垣 暢也 (理事) 京都大学
大内 尉義 虎の門病院
大江 和彦 (理事) 東京大学
北川 雄光 (理事) 慶應義塾大学
香美 祥二 徳島大学
曾根 三郎 徳島市病院局
中山 健夫 京都大学
馬場 秀夫 熊本大学
平田 公一 JR 札幌病院
三谷 絹子 獨協医科大学

(10) 労働環境検討委員会

【担当副会長】

岸 玲子 (副会長) 北海道大学

【副委員長】

岩本 幸英 (理事) 九州労災病院
堤 明純 北里大学

【幹事】

齊藤 光江 (理事) 順天堂大学
森 晃爾 産業医科大学

【委員】

江原 朗 広島国際大学
桐野 高明 佐賀県医療センター好生館
寺本 民生 (理事) 帝京大学
本田 宏 NPO 法人医療制度研究会
森 正樹 (副会長) 九州大学
森山 寛 (理事) 東京慈恵会医科大学
吉川 徹 労働安全衛生総合研究所国際情報・研究振興センター

(11) 男女共同参画等検討委員会

【委員長】

名越 澄子（理事） 埼玉医科大学

【副委員長】

中村 清吾 昭和大学

【担当副会長】

岸 玲子（副会長） 北海道大学

【幹事】

野原 理子 東京家政大学

野村 恭子 秋田大学

細谷 紀子 東京大学

【委員】

明石 嘉浩 聖マリアンナ医科大学

今井由美子（理事） 医薬基盤・健康・栄養研究所

大野 京子 東京医科歯科大学

蒔田 香苗（理事） 杏林大学

北川 雄光（理事） 慶應義塾大学

北野 尚美 和歌山県立医科大学

蓮沼 直子 広島大学

(参考) 日本医学会創立 120 周年記念事業

記念式典委員会 (仮称)

岩本 幸英 (理事)	九州労災病院
苛原 稔 (理事)	徳島大学
蒔田 香苗 (理事)	杏林大学
小室 一成 (理事)	東京大学
瀬戸 泰之 (理事)	東京大学
成宮 周 (理事)	京都大学
森 正樹 (副会長)	九州大学

記念誌委員会 (仮称)

飯野 正光 (副会長)	日本大学
今井由美子 (理事)	医薬基盤・健康・栄養研究所
大江 和彦 (理事)	東京大学
門脇 孝 (副会長)	虎の門病院
岸 玲子 (副会長)	北海道大学
北川 雄光 (理事)	慶應義塾大学
寺本 民生 (理事)	帝京大学
名越 澄子 (理事)	埼玉医科大学
森山 寛 (理事)	東京慈恵会医科大学

未来への提言作成委員会 (仮称)

飯野 正光 (副会長)	日本大学
池田 康夫 (理事)	早稲田大学／慶應義塾大学
稲垣 暢也 (理事)	京都大学
春日 雅人 (理事)	朝日生命成人病研究所
小池 和彦 (理事)	東京大学
齊藤 光江 (理事)	順天堂大学
遠山 千春 (理事)	筑波大学
宮園 浩平 (理事)	東京大学

III. 会議開催日

2019年4月5日

- 企画運営会議

2019年4月9日

- 総務委員会 / 広報委員会

2019年4月15日

- 研究倫理委員会

2019年4月17日

- 母体保護法（旧優生保護法）の検証のための検討会

2019年4月22日

- 臨床研究法のあり方検討委員会 準備会合

2019年4月23日

- 企画運営会議

2019年5月7日

- 財務委員会

2019年5月8日

- 労働環境検討委員会

2019年5月10日

- 企画運営会議
- 総務委員会

2019年5月15日

- 臨床研究法のあり方検討委員会

2019年5月18日

- ビッグデータに関するワーキンググループ（仮称）

2019年5月21日

- 企画運営会議
- 理事会

2019年5月29日

- 総務委員会
- 臨床研究法のあり方検討委員会

2019年5月30日

- 4委員会合同委員会（日本医学会連合研究倫理委員会，日本医学会連合診療ガイドライン検討委員会，日本医学雑誌編集者組織委員会，日本医学会利益相反委員会）
- 研究倫理教育研修会

- 平成 31 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）「ICT を活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究」研究班会議

2019 年 6 月 10 日

- 社会部会「若手リトリート（仮称）」準備会合

2019 年 6 月 11 日

- 母体保護法（旧優生保護法）の検証のための検討会

2019 年 6 月 14 日

- 企画運営会議

2019 年 6 月 18 日

- 理事会
- 定時社員総会
- 理事会

2019 年 6 月 19 日

- 臨床研究法のあり方検討委員会

2019 年 6 月 28 日

- 企画運営会議

2019 年 7 月 5 日

- 広報委員会

2019 年 7 月 9 日

- 企画運営会議

2019 年 7 月 23 日

- 理事会

2019 年 7 月 24 日

- 企画運営会議

2019 年 8 月 15 日

- 企画運営会議

2019 年 8 月 20 日

- 社会部会 若手リトリート（仮称）実行委員会

2019 年 8 月 22 日

- 母体保護法（旧優生保護法）の検証のための検討会

2019 年 8 月 31 日

- 医療ビッグデータワーキンググループ

2019 年 9 月 3 日

- 社会部会 若手リトリート（仮称）実行委員会（Zoom）

2019 年 9 月 4 日

- ゲノム編集技術の医学応用に関する検討作業部会

2019 年 9 月 10 日

- 企画運営会議
 - 理事会
- 2019年9月11日
- 母体保護法（旧優生保護法）の検証のための検討会
- 2019年9月18日
- 社会部会 若手リトリート（仮称） 実行委員会
- 2019年9月19日
- メディア懇談会
- 2019年9月21日
- 基礎部会 Rising Star リトリート企画委員会
- 2019年9月25日
- 企画運営会議
 - 旧優生保護法・母体保護法の検証のための検討会
- 2019年10月1日
- 令和元年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）「ICTを活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究」研究班会議
- 2019年10月3日
- 総務委員会
- 2019年10月4日
- 企画運営会議
- 2019年10月7日
- 診療ガイドライン検討委員会
- 2019年10月11日
- 社会部会 若手リトリート実行委員会
- 2019年10月21日
- 社会部会 若手リトリート実行委員会
- 2019年10月28日
- 基礎部会 Rising Star リトリート企画委員会
- 2019年11月1日
- 企画運営会議
- 2019年11月5日
- 財務委員会
- 2019年11月6日
- 総務委員会
- 2019年11月7日
- 企画運営会議
 - あり方委員会

- 2019年11月12日
- 理事会
- 2019年11月13日
- 旧優生保護法・母体保護法の検証のための検討会
- 2019年11月21日
- 研究推進委員会
- 2019年11月25日
- 労働環境検討委員会
- 2019年11月27日
- 企画運営会議
 - 旧優生保護法・母体保護法の検証のための検討会
- 2019年12月7日
- 医学におけるビッグデータを考えるワーキンググループ
- 2019年12月8日
- 令和元年度 女性医師支援担当者連絡会
- 2019年12月9日
- 研究倫理委員会
- 2019年12月10日
- 企画運営会議
- 2019年12月16日
- 基礎部会 Rising Star リトリート企画委員会
- 2019年12月17日
- 男女共同参画等検討委員会
- 2019年12月24日
- 総務委員会
- 2019年12月25日
- 企画運営会議
- 2020年1月7日
- 4委員会委員長合同会議（日本医学会連合研究倫理委員会・日本医学会連合診療ガイドライン検討委員会、日本医学会利益相反委員会・日本医学雑誌編集者組織委員会）
- 2020年1月10日
- 企画運営会議
- 2020年1月14日
- 労働環境検討委員会
- 2020年1月15日
- 臨床研究法のあり方検討委員会
- 2020年1月16日

- 領域横断的な超高齢社会における医療の取り組みの推進に向けたワーキンググループ（仮称）

2020年1月21日

- 企画運営会議
- 理事会

2020年1月22日

- 旧優生保護法・母体保護法の検証のための検討会

2020年2月4日

- 令和元年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）「ICTを活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究」研究班会議

2020年2月5日

- 旧優生保護法・母体保護法の検証のための検討会

2020年2月6日

- 加盟学会連絡協議会

2020年2月7日

- 企画運営会議

2020年2月13日

- 基礎部会 Rising Star リトリート企画委員会

2020年2月18日

- 企画運営会議

2020年2月19日

- 社会部会 若手リトリート実行委員会

2020年2月25日

- 教育および人材育成検討委員会

2020年2月26日

- 労働環境検討委員会

2020年2月28日

- 財務委員会

2020年3月4日

- 旧優生保護法・母体保護法の検証のための検討会

2020年3月6日

- 企画運営会議

2020年3月11日

- あり方委員会

2020年3月16日

- 領域横断的な超高齢社会における医療の取り組みの推進に向けたワーキンググループ（仮称）

2020年3月31日

- 企画運営会議
- 理事会

IV. 各種会議

1. 社員総会

- 2018年度 事業報告及び決算について承認した。
- 2019年度 事業計画及び予算について了承した。
- 2019年度 会費徴収について了承した。
- 役員の選挙を行った（理事24名（うち、会長1名、副会長4名）、監事4名）。

2. 理事会

- 2018年度 事業報告及び決算を承認した。
- 2019年度 補正予算を承認した。
- 2019年度 会費徴収方法について確認した。
- 2020年度 事業計画及び予算を承認した。
- 2019年度 定時社員総会の議題を了承した。
- 2020年度 定時社員総会のオンライン開催を了承した。
- 加盟学会連絡協議会の議事を了承した。
- 加盟学会の学会名の変更について了承した（日本結核・非結核性抗酸菌症学会、日本臨床栄養代謝学会）。
- 加盟学会の新規加盟について了承した（日本女性医学学会、日本てんかん学会、日本インターベンショナルラジオロジー学会、日本内分泌外科学会）。
- 日本医学会連合役員改選候補者の件を承認した（2019年6月18日）。
- 日本医学会連合会長及び副会長を選定した（2019年6月18日）。
- 各委員会委員長及び委員を選任した。
- 日本医学会創立120周年記念事業にかかわる委員会を設置し、委員を選任した。
- 随時、企画運営会議、各委員会・小委員会・作業部会等の関係機関の報告内容を確認した。
- 以下の内容を確認した。
 - 内閣官房健康・医療戦略室経過報告 次期医療分野の研究開発計画検討状況（2019年5月21日）
 - 日本医学会連合の新体制にかかわる記者会見（2019年6月18日）
 - 日本学術会議・日本医学会連合 懇談会（2019年7月2日）
 - メディア懇談会（2019年9月19日）
 - 医師の働き方改革の推進に関する検討会
 - 厚生労働省 臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業 ICT を活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究の評価結果（5点中4.2点（平均点3.8点））

- 第 31 回 日本医学会総会の開催概要について確認した。
- 日本医療安全調査機構の理事の推薦依頼について、高久 史磨 名誉会長を推薦した。
- 再生医療等製品レジストリ協議会（仮称）の設立について了承した（2020 年 3 月、日本医学会に移管）。
- 2020 年 4 月以降の会議の開催方法は、すべての会議において積極的に Web 形式を取り入れていくこととした。
- 事務局職員 1 名の採用について了承した。

3. 企画運営会議

- 2018 年度 事業報告及び決算を了承した。
- 2019 年度 補正予算を了承した。
- 2019 年度 会費徴収方法について確認した。
- 2020 年度 事業計画及び予算を了承した。
- 2019 年度 理事会の議題について検討した。
- 2019 年度 定時社員総会の議題について検討した。
- 2019 年度 加盟学会連絡協議会の議事について了承した。
- 2020 年度 定時社員総会のオンライン開催を了承した。
- 加盟学会の学会名の変更について了承した（日本結核・非結核性抗酸菌症学会、日本臨床栄養代謝学会）。
- 加盟学会の新規加盟について了承した（日本女性医学学会、日本てんかん学会、日本インターベンショナルラジオロジー学会、日本内分泌外科学会）。
- 各委員会委員長及び委員の選任について検討した。
- 日本医学会創立 120 周年記念事業にかかわる委員会の設置について検討した。
- 随時、各委員会・小委員会・作業部会等の関係機関の報告内容を確認した。
- 日本医学会連合の新体制にかかわる記者会見を行った（2019 年 6 月 18 日）。
- 日本学術会議・日本医学会連合 懇談会を行った（2019 年 7 月 2 日）。
- 日本医療安全調査機構の理事の推薦依頼について、高久 史磨 名誉会長を推薦することとした。
- 関係団体（日本学術会議、全国医学部長病院長会議等）との連携のあり方について討議した。
- 再生医療等製品レジストリ協議会（仮称）の運営に関する覚書について検討した。
- 領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループの設置について検討した。
- 学会データベース倫理審査状況一覧ページの設置に関する要望書への対応について検討した。
- サブスペシャルティ領域の在り方に関するワーキンググループの検討内容を確認した。
- 医師の働き方改革の推進に関する検討会の検討内容を確認した。

- 厚生労働省 臨床研究等 ICT 基盤構築・人工知能実装研究事業 ICT を活用した卒前・卒後のシームレスな医学教育の支援方策の策定のための研究の評価結果（5 点中 4.2 点（平均点 3.8 点））を確認した。
- 以下の依頼について了承した。
 - グローパルタバコフリーサミットに対する後援名義使用（日本対がん協会）
 - 主治医に対する「治療と仕事の両立支援」に係わる周知（独立行政法人労働者健康安全機構）
 - 公開シンポジウム（生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティに関する課題と今後の展望）の後援（日本学術会議）
 - 健康・生活科学委員会・歯学委員会合同脱タバコ社会の実現分科会 公開シンポジウム 共催（日本学術会議）
- Web 会議運営の課題について確認した。
- 事務機能の強化の方策について検討した。
- 事務局職員 1 名を採用した（2020 年 2 月）。

4. 各委員会報告

(1) 総務委員会（委員長 森 正樹）

- 選挙管理委員会として、役員選任・選定にかかわる会務（特別枠の追加（今回は女性枠として設定）、役員候補者推薦書の発送、候補者一覧の作成）を行った。
- 事務機能の整備（PC の刷新、ソフトウェアの追加等）について検討した。
- 事務局職員 1 名の採用の検討を行った。
- Web 会議の運営方法（事前業務・当日業務）の改善策について検討した。
- 会務にかかわる情報の取扱いの方針（情報の公開範囲の設定等）について検討した。
- 日本医学会連合の組織図の作成を行った。
- 日本医学会連合と日本医学会の諸規則の整合性等について検討した。
- 日本医学会創立 120 周年事業に関して、記念式典の準備について検討した。

(2) 財務委員会（委員長 門脇 孝）

- 2018 年度 決算報告書を作成した。
- 2019 年度 補正予算を作成した（委員会の追加への対応、事務機能の整備等）。
- 2019 年度 会費の納入状況を確認した。
- 2019 年度 会議・打合せの開催回数を確認した（2018 年度：99 回（うち、オンラインを含むものは 2 回）、2019 年度：130 回（うち、オンラインを含むものは 24 回））。
- 事業の活性化に伴い、収入の見直しについて検討した。
- 2020 年度 予算案を作成した。

- 第2回 基礎部会 Rising Star リトリート及び第1回 社会部会 若手リトリートの2020年度への開催延期にかかわる残務処理について確認した。
- 旅費規程の改正について検討した（リトリートの最寄り駅から会場までの旅費の取扱い）。

(3) あり方委員会（委員長 門脇 孝）

- 日本医学会連合の活動の課題を同定すべく、各学会の将来計画、将来構想、あり方等に関するアンケートを行った（回答率 61.3%（132 学会中 81 学会））。2015 年に実施した前回のアンケート結果と合わせて、以下の点について検討した。
 - 我が国の研究力の強化のための日本医学会連合の役割
 - 専門医制度についての日本医学会連合のリーダーシップ
 - 働き方改革
 - 新型コロナウイルス感染症への対応
 - 学術集会のあり方
 - AI についての日本医学会連合からの発信
 - 要望として必ずしも出ていない場合でも日本医学会連合として取り組むべきこと
- 加盟学会連絡協議会を開催した（参加学会数：132 学会中 80 学会）。
 - 日時：2020 年 2 月 6 日（木曜日）15 時から 17 時まで
 - 会場：一橋大学一橋講堂 中会議場 2～4
 - プログラム：
 1. 第 30 回日本医学会総会を終え 日本医学会創立 120 周年を迎えるにあたり
門田 守人（日本医学会連合 会長）
 2. 第 31 回日本医学会総会について
春日 雅人（第 31 回日本医学会総会 会頭）
 3. 治療と仕事の両立支援について
大西 洋英（労働者健康安全機構 本部 理事）
 4. AI 診療に対する今までの議論とこれからの対応
岩中 督（日本医学会連合 あり方委員会）
 5. 日本医学会連合の現状の評価と今後の課題について
- 診療ガイドラインや癌取扱い規約を作成している学術団体の状況を確認し、会員の種別について討議した。

(4) 広報委員会（委員長 大江 和彦）

- 委員会名簿の公開を開始した。
- ウェブサイトリニューアルにかかわる RFP（Request for Proposal；提案依頼書）を作成した。

- ウェブサイトリニューアルにかかわる業者を選定した。
- 現行のウェブサイトのコンテンツについて、改めて整理を行った。
- 新ウェブサイトのテスト版の設置と検収を行った。
- メディア懇談会を開催した（2019年9月19日）。
- Web会議システム（Zoom）を導入し、他の委員会における利用を開始した。

(5) 研究推進委員会（委員長 飯野 正光）

- 動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護法）改正に対する要望書
 - 動物愛護団体などの要請により実験動物の扱いに関する動物愛護法第41条の改正に関して、特定非営利活動法人 動物実験関係者連絡協議会が改正を回避する要望書案を作成し日本医学会連合に賛同を求めてきた。日本医学会連合として要望書案に賛同するとともに、各加盟学会にも個別に賛同するかの間合せを行い、2019年4月26日までに101加盟学会から賛同が得られ、関係諸政党の代表者、超党派議連、各党の関連議員に文書で提出された。
 - 改定動物愛護法の付則に基づいて検討を行うための指針の改正案に関わるパブリックコメントについて、加盟学会に周知した。
- 加盟学会連携フォーラム共催事業
 - 加盟学会間の学術的連携を推進するために、2018年度に引き続き標記フォーラムの募集を行った。応募案件は、随時研究推進委員会でメール審議を行い、採否を決定した。2019年度に採択された加盟学会連携フォーラムの申請学会は次の9学会であった。日本整形外科学会、日本臨床検査医学会、日本医真菌学会、日本薬理学会（誌上開催）、日本移植学会、日本解剖学会（誌上開催）、日本寄生虫学会（中止）、日本産業衛生学会（中止）、日本生化学会。
- 医学研究
 - 医学研究費について、文部科学省 科学技術・学術政策研究所の報告書、日本学術会議の提言等の情報を確認し、今後の活動について検討した。
 - 医学部学生・卒業生の研究志向について討議し、医学科学生のリトリート企画案について全国の大学医学部長を対象にアンケートを実施した（回答率 80.5%（82大学中 66大学））。
- ゲノム編集技術の医学応用に関する検討作業部会
 - ヒト胚のゲノム編集研究に関して以下のレクチャーを実施し対応を検討した。
 - ◇ 演題：ゲノム編集医療の開発のあり方：体細胞ゲノム編集治療と生殖細胞系列ゲノム編集
講師：石井 哲也（北海道大学安全衛生本部）
 - ◇ 演題：ヒト胚を対象としたゲノム編集技術等の研究のための環境整備—法令・指針整備の動向と胚提供の問題—
講師：苛原 稔（徳島大学大学院医歯薬学研究部）

- 体細胞ゲノム編集を用いた治療法について調査を行った。
- 基礎部会 Rising Star リトリート企画委員会
 - 第1回 基礎部会 Rising Star リトリート実施報告書を作成した（会期：2019年3月4日から5日まで、会場：かずさアカデミアパーク オークラアカデミアパーク ホテル 飛鳥の間、参加者数：55名）。
 - 第2回 基礎部会 Rising Star リトリートの準備を進めたが（会期：2020年3月1日から2日まで、会場：淡路夢舞台）、新型コロナウイルス感染症の影響のため開催を延期した。
- 社会部会 若手リトリート実行委員会
 - 第1回 社会部会 若手リトリートの準備を進めたが（会期：2020年3月5日から6日まで、会場：HOTEL 春日居）、新型コロナウイルス感染症の影響のため開催を延期した。
- 医学におけるビッグデータを考えるワーキンググループ
 - 政策提言に向けて、関係者からの話題提供を受けながら検討した。
 - ◇ 第1回会合（2019年5月18日）
 - 演題①：「日本版 National Death Index の創設で、国勢調査等の公的な調査結果とのリンケージを図れ」
 - 大島 明 委員（大阪国際がんセンターがん対策センター）
 - 演題②：医療関係のリアルワールド・ビッグデータをめぐる最近の情勢と懸念
 - 大江 和彦 委員（東京大学大学院医学研究科医療情報学分野）
 - ◇ 第2回会合（2019年8月31日）
 - 演題①：医療レセプトと介護レセプトの連結解析からわかることと解決すべき課題
 - 講師：松田 晋也（産業医科大学医学部 公衆衛生学 教授 同 産業保健データサイエンスセンター長）
 - 演題②：DPC 解析から得る臨床疫学エビデンスの課題
 - 講師：康永 秀生（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 臨床疫学・経済学分野 教授）
 - 第3回は日本医学会連合社会部会・日本医療・病院管理学会共同企画シンポジウム「医療政策・経営とビッグデータ解析」
 - 開催年月日 2019年11月3日、開催地：新潟市
 - 座長：今中 雄一、秋葉 澄伯
 - 演者と演題：

- 満武 巨裕（医療経済研究機構研究副部長）NDB 大規模データ解析と活用
- 石川 ベンジャミン 光一（国際医療福祉大学教授）DPC 大規模データ解析と活用
- 今中 雄一（京都大学大学院教授）統合的大規模データ解析と活用

☆ 第4回会合（2019年12月7日）

- 演題①：医療分野におけるデータ活用～フィンランドのケースを手掛かりに～
講師：森田 朗（津田塾大学総合政策学部 教授）
- 演題②：医学におけるビッグデータを考えるワーキンググループ 話題提供
講師：落合 慈之（東京医療保健大学 学事顧問 NTT 東日本関東病院 名誉院長 GS1 ヘルスケアジャパン協議会 会長 医療トレーサビリティ推進協議会 理事長）
- 演題③我が国の動態統計データ(特に死亡に関する情報)の利活用
- 講師：祖父江友孝（大阪大学大学院医学研究科社会医学講座・環境医学教授）
- 厚生労働省からも情報提供を受けた。
- 日本医学会連合、加盟学会関係者が出席し、ビッグデータの医学研究における可能性や課題が話された。
- 領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ
 - 2019年6月29日、第155回医学会シンポジウム「超高齢社会における医療の取組み、ロコモ・フレイル・サルコペニア」が開催され、ロコモ・フレイル・サルコペニア、認知症、高齢者の栄養に取り組む研究者が一同に会し、ロコモ・フレイル・サルコペニアは相互に密接に関連していること、これに認知症、栄養問題が深くかかわっていることが再確認された。そこで、領域横断的なワーキンググループを組織し、ロコモ・フレイル・サルコペニア相互の関係の整理をはじめとする各課題の精査と今後の取組みについて検討することとなり、領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループを設置し、検討を開始した。

(6) 研究倫理委員会（委員長 市川 家國）

- 臨床研究法のあり方について検討した。
- 共通倫理ガイドライン・共通教材に関するアンケート結果を確認し（回答率 75.2%（129学会中 97学会））、2019年5月30日（木曜日）開催の第5回研究倫理教育研修会で報

告した。その後、学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針（改定第1案）を作成し、改めて加盟学会に意見を募った。

- 第6回研究倫理教育研修会のテーマについて検討した。
- 公正研究推進協会（APRIN）との活動連携について討議した。
- 旧優生保護法・母体保護法の検証のための検討会（委員の参加による Ad Hoc 検討会）
 - 旧優生保護法・母体保護法は、今の観点からすれば、その内容に不適切なものが含まれていると考えられるため、検証のための検討会を設置した。参考人として外部の意見（関連団体、医師、被害者、弁護士等）も参考にして過去の歴史的経緯を確認し、医学・医療界がどのようにすべきだったのかを検証し、今後のあるべき姿勢について討議して報告書案を作成している。
 - 適宜、記者会見を行った。
- 臨床研究法のあり方検討委員会（委員の参加による Ad Hoc 委員会）
 - 臨床研究法を根拠に、本来対象とすべきではない研究に対しても規制するというような拡大解釈が危ぐされることから、臨床研究法のあり方検討委員会を設置して検討を進め、2019年7月8日、厚生労働省に要望書を提出した。
 - 2019年11月13日、厚生労働省から臨床研究法の施行等に関する Q&A（統合版）が公開され、その内容について確認し、今後の対応について検討した。

(7) 教育および人材育成検討委員会（委員長 池田 康夫）

- 専門医制度小委員会、研究者育成小委員会の今期の課題について確認した。
- 専門医制度小委員会
 - 専門医制度に関する提言（2019年3月22日公開）のその後の専門医制度を取り巻く状況について確認した。
 - 専門医制度の現状と課題について、日本専門医機構・理事長からの話題提供の内容を確認した。
- 研究者育成小委員会
 - 研究者育成に関するアンケート案及びアンケートの具体的な実施方法について検討した。
 - アンケートの対象（加盟学会以外）について、改めて審議した。

(8) 診療ガイドライン検討委員会（委員長 南学 正臣）

- 診療ガイドラインの作成状況について、2017年に引き続き加盟学会へのアンケートを実施すべく、項目の検討を改めて行った。
- 日本医学会 診療ガイドライン策定参加資格基準 ガイダンスの内容を確認した。
- 2019年10月30日、日本医学会利益相反委員会と連名で、加盟学会に対して診療ガイドライン策定にかかる企業等との関係透明化に関する要請を行った。

- 第6回研究倫理教育研修会のテーマについて検討した。
- 診療ガイドライン統括委員長会議は、新型コロナウイルス感染症の影響のため延期とした。

(9) 労働環境検討委員会（委員長 岸 玲子）

- 医師の働き方改革に関する声明・提言（2019年2月14日公開）以降の関係各所における状況を確認した。
- 話題提供の内容確認や関係者との意見交換を行った。
 - 演題：「医師の不足と過剰」－医療格差を医師の数から考える－
講師：桐野 高明（佐賀県医療センター 好生館 理事長）
 - 全国社会保険労務士会連合会の関係者
- 医師の働き方改革に関する各学会あてアンケートの項目（タスクシフトなど喫緊の重要課題や日本医学会連合への要望等）について、改めて検討した。
- 公開フォーラムなどを経て、特に前年の提言では十分検討ができなかった「大学病院医師の働き方改革に関する報告書（提言）」を改めて取りまとめていくことについて検討した。

(10) 男女共同参画等検討委員会（委員長 名越 澄子）

- 男女共同参画など多様な背景を持つ会員の学術活動への参画と今後の支援方策に関する調査報告書の最終案について検討し、報告書を配布することを決定した。
- 第2回アンケート調査項目について検討した。
- 2019年12月8日、令和元年度 女性医師支援担当者連絡会を、日本医師会女性医師支援センター・日本医学会連合と共催した。同連絡会で男女共同参画など多様な背景を持つ会員の学術活動への参画と今後の支援方策に関する調査結果を公開した。

貸借対照表
(2020年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	135,286,630	142,731,998	△ 7,445,368
前払費用	381,775	317,994	63,781
仮払金	2,838,995	2,838,995	0
流動資産合計	138,507,400	145,888,987	△ 7,381,587
2. 固定資産			
(1) 特定資産	0	0	0
(2) その他の固定資産			
工具器具備品	327,304	327,304	
減価償却累計額	△ 248,887	△ 170,470	△ 78,417
長期前払費用	0	30,600	△ 30,600
その他の固定資産計	78,417	187,434	△ 109,017
固定資産合計	78,417	187,434	△ 109,017
資 産 合 計	138,585,817	146,076,421	△ 7,490,604
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,530,810	1,814,356	5,716,454
預り金	206,234	△ 25,783	232,017
流動負債合計	7,737,044	1,788,573	5,948,471
2. 固定負債			
引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	7,737,044	1,788,573	5,948,471
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産	130,848,773	144,287,848	△ 13,439,075
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	130,848,773	144,287,848	△ 13,439,075
負債及び正味財産合計	138,585,817	146,076,421	△ 7,490,604

2019年度年度損益計算書
(正味財産増減計算書)

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	57,413,100	56,309,250	1,103,850
雑収益	1,241	1,299	△ 58
受取利息	1,241	1,299	△ 58
雑収益	0	0	0
経常収益計	57,414,341	56,310,549	1,103,792
(2) 経常費用			
事業費	21,360,194	26,989,929	△ 5,629,735
旅費交通費	8,526,671	11,142,669	△ 2,615,998
通信運搬費	107,241	208,207	△ 100,966
消耗品費	0	60,175	△ 60,175
印刷製本費	1,728,000	417,960	1,310,040
賃借料	1,210,430	2,364,524	△ 1,154,094
租税公課	0	0	0
<small>厚労研究費 医行為 直接経費返納金</small>	0	1,266,280	△ 1,266,280
諸謝金	854,304	1,009,587	△ 155,283
助成費	4,400,000	3,750,000	650,000
委託費	3,960,677	5,082,588	△ 1,121,911
渉外費	0	0	0
会議費	499,711	1,687,939	△ 1,188,228
支払手数料	73,160	0	73,160
管理費	46,064,782	26,608,050	19,456,732
給与手当	13,639,713	4,778,472	8,861,241
法定福利費	2,000,427	701,382	1,299,045
福利厚生	0	10,250	△ 10,250
旅費交通費	4,443,759	4,233,322	210,437
通信運搬費	622,507	371,595	250,912
消耗品費	1,769,641	1,128,788	640,853
消耗什器備品費	1,332,929	859,464	473,465
リース料	1,093,824	1,093,824	0
印刷製本費	270,000	447,793	△ 177,793
賃借料	3,301,651	3,050,001	251,650
諸謝金	1,204,340	694,920	509,420
租税公課	70,600	70,600	0
委託費	7,421,085	9,905,933	△ 2,484,848
<small>厚労研究費 医行為 間接経費返納金</small>	0	720	△ 720
広報費	5,866,336	1,374,208	4,492,128
諸会費	1,400,000	1,400,000	0
渉外費	145,260	0	145,260
会議費	135,918	286,339	△ 150,421
図書・文献購入費	580	0	580
支払手数料	413,612	357,480	56,132
保険料	158,985	105,260	53,725
修繕費	775,198	1,591,865	△ 816,667
減価償却費	78,417	156,833	△ 78,416
<small>厚労研究費 ICT 間接経費</small>	△ 80,000	△ 6,010,999	5,930,999
経常費用計	67,424,976	53,597,979	13,826,997
当期経常増減額	△ 10,010,635	2,712,570	△ 12,723,205
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,010,635	2,712,570	△ 12,723,205
一般正味財産期首残高	140,175,511	137,462,941	2,712,570
一般正味財産期末残高	130,164,876	140,175,511	△ 10,010,635
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	130,164,876	140,175,511	△ 10,010,635

特別会計（厚生労働省研究費）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取研究費	11,952,000	30,160,000	△ 18,208,000
直接経費	11,872,000	23,200,000	△ 11,328,000
間接経費	80,000	6,960,000	△ 6,880,000
経常収益計	11,952,000	30,160,000	△ 18,208,000
(2) 経常費用			
研究費支出	15,380,440	26,047,663	
厚労研究費ICT直接経費	12,127,440	20,036,664	△ 7,909,224
厚労研究費ICT間接経費	80,000	6,010,999	△ 5,930,999
2018年度厚労研究費(直接経費)及納金	3,173,000	0	3,173,000
経常費用計	15,380,440	26,047,663	△ 10,667,223
当期経常増減額	△ 3,428,440	4,112,337	△ 7,540,777
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,428,440	4,112,337	△ 7,540,777
一般正味財産期首残高	4,112,337	0	4,112,337
一般正味財産期末残高	683,897	4,112,337	△ 3,428,440
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	683,897	4,112,337	△ 3,428,440

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針
 - (1) 固定資産の減価償却の方法
 - ・固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。
工具器具備品…定率法
 - (2) 消費税等の会計処理
 - ・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
2. 特定資産
該当なし
3. 担保に供している資産
該当なし
4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高
貸倒引当金の計上をしていない
5. 保証債務等の偶発債務
該当なし
6. 満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価および評価損益
該当なし
7. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額および残高
該当なし
8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当なし
9. 関連当事者との取引の内容
該当なし
10. 重要な後発事象
該当なし

附属明細書

1. 特定資産の明細
該当なし

2. 引当金の明細
該当なし

2019年度収支決算書

一般会計

(単位:円)

科目		予算額	決算額	差額
収入				
会費収入		57,000,000	57,413,100	△ 413,100
雑収入		1,000	1,241	△ 241
	受取利息	1,000	1,241	△ 241
	雑収入			
事業活動収入計		57,001,000	57,414,341	△ 413,341
支出				
事業費		48,153,000	21,360,194	26,792,806
委員会費		40,613,000	15,212,373	25,400,627
	総務委員会費	515,000	717,645	△ 202,645
	財務委員会費	371,000	149,705	221,295
	あり方委員会費	482,000	120,543	361,457
	広報委員会費	750,000	448,587	301,413
	研究推進委員会費 計	24,132,000	7,948,478	16,183,522
	研究推進委員会費	350,000	142,362	207,638
	ゲノム編集技術の医学応用に関する 検討作業部会費	4,070,000	309,124	3,760,876
	基礎医学費 計	5,662,000	412,176	5,249,824
	基礎医学費(会議費)	462,000	412,176	49,824
	基礎医学費(リトリート費用)	5,000,000	0	5,000,000
	基礎医学費(医学部学生のための研究リトリート費用)	200,000	0	200,000
	社会医学費 計	6,360,000	1,430,896	4,929,104
	社会医学費(部会議)	0	96,450	△ 96,450
	社会医学費(医療ビッグデータWG)	1,360,000	756,835	603,165
	社会医学費(リトリートおよびシンポジウム)	5,000,000	577,611	4,422,389
	脳・心血管病協議会費	1,600,000	1,728,000	△ 128,000
	加盟学会連携フォーラム共催事業費	4,200,000	3,900,000	300,000
	再生医療等製品レジストリ協議会	1,890,000	25,920	1,864,080
	研究倫理委員会費 計	3,573,000	3,548,179	24,821
	研究倫理委員会費	461,000	352,110	108,890
	母体保護法(旧優生保護法)の検証のための検討会費	1,750,000	2,376,725	△ 626,725
	臨床研究法のあり方検討委員会費	1,362,000	819,344	542,656
	教育および人材育成等検討委員会費	4,417,000	489,922	3,927,078
	教育および人材育成等検討委員会費	1,220,000	247,170	972,830
	専門医制度小委員会費	532,000	0	532,000
	専門医制度拡大委員会(仮称)費	1,095,000	242,752	852,248
	研究者育成小委員会費 計	1,570,000	0	1,570,000
	研究者育成小委員会費(アンケート・インタビュー旅費)	350,000	0	350,000
	研究者育成小委員会費(小委員会会議として)	620,000	0	620,000
	研究者育成小委員会費(ワークショップとして)	600,000	0	600,000
	診療ガイドライン検討委員会費 計	1,493,000	176,762	1,316,238
	診療ガイドライン検討委員会費(委員会)	560,000	176,762	383,238
	診療ガイドライン検討委員会費(統括委員長会議)	933,000	0	933,000
	労働環境検討委員会費	1,952,000	1,300,754	651,246
	男女共同参画等検討委員会費	1,928,000	311,798	1,616,202
	共同シンポジウム検討委員会費 (薬学会・歯科医師会連合等との関係強化)	1,000,000	0	1,000,000
推進費		4,480,000	3,349,180	1,130,820
	加盟学会連絡協議会費	1,163,000	782,122	380,878
	研究倫理教育研修会費	597,000	457,012	139,988
	合同シンポジウム開催費 (女性医師支援担当者連絡会)	2,220,000	1,610,046	609,954
	第31回医学会総会拠出金	500,000	500,000	0
業務費		1,560,000	753,059	806,941
	旅費交通費	170,000	156,980	13,020
	通信運搬費	80,000	70,641	9,359
	消耗品費	10,000	0	10,000
	印刷製本費	30,000	0	30,000
	賃借料	0	2,900	△ 2,900
	租税公課	10,000	0	10,000
	諸謝金	500,000	0	500,000
	委託費	400,000	501,178	△ 101,178
	渉外費	200,000	0	200,000
	会議費	130,000	21,360	108,640
	図書・文献購入費	30,000	0	30,000
予備費		1,500,000	2,045,582	△ 545,582

科目		予算額	決算額	差額
管理費		58,333,417	46,064,782	12,268,635
	役員会費	6,636,000	4,264,976	2,371,024
	理事会費	2,390,000	2,523,189	△ 133,189
	企画運営会議費	4,246,000	1,741,787	2,504,213
	總會費	1,082,000	580,381	501,619
	總會費	1,082,000	580,381	501,619
	事務費	50,315,417	41,219,425	9,095,992
	給与手当	17,000,000	13,639,713	3,360,287
	法定福利費	2,530,000	2,000,427	529,573
	福利厚生	100,000	0	100,000
	旅費交通費	1,000,000	843,928	156,072
	通信運搬費	1,020,000	594,777	425,223
	消耗品費	1,050,000	1,768,561	△ 718,561
	消耗什器備品費	1,489,000	1,332,929	156,071
	リース料	1,100,000	1,093,824	6,176
	印刷製本費	90,000	0	90,000
	賃借料	3,030,000	2,746,309	283,691
	諸謝金	690,000	1,204,340	△ 514,340
	租税公課	70,000	70,600	△ 600
	委託費	5,855,000	7,127,595	△ 1,272,595
	広報費	10,000,000	5,866,336	4,133,664
	諸会費	2,000,000	1,400,000	600,000
	渉外費	500,000	145,260	354,740
	会議費	62,000	38,034	23,966
	図書・文献購入費	30,000	580	29,420
	支払手数料	360,000	413,612	△ 53,612
	保険料	170,000	158,985	11,015
	修繕費	2,091,000	775,198	1,315,802
	減価償却費	78,417	78,417	0
	厚労省研究費ICT間接経費	0	△ 80,000	80,000
	予備費	300,000	0	300,000
事業活動支出計		106,486,417	67,424,976	39,061,441
事業活動収支差額		△ 49,485,417	△ 10,010,635	△ 39,474,782
前期繰越収支差額		140,175,511	140,175,511	0
次期繰越収支差額		90,690,094	130,164,876	△ 39,474,782

特別会計(厚生労働省研究費)

(単位:円)

科目		予算額	決算額	差額
収入				
	受取研究費	11,952,000	11,952,000	0
	直接経費	11,872,000	11,872,000	0
	間接経費	80,000	80,000	0
支出				
	研究費支出	16,064,337	15,380,440	683,897
	直接経費	11,872,000	12,127,440	△ 255,440
	間接経費	80,000	80,000	0
	直接経費2018年度返納金	3,163,336	3,173,000	△ 9,664
	間接経費2018年度返納金	949,001	0	949,001
事業活動支出計		16,064,337	15,380,440	683,897
事業活動収支差額		△ 4,112,337	△ 3,428,440	△ 683,897
前期繰越収支差額		4,112,337	4,112,337	0
次期繰越収支差額		0	683,897	△ 683,897

監査報告書

2020年5月27日

一般社団法人日本医学会連合
会長 門田 守人 殿

一般社団法人日本医学会連合

監事 岩尾 洋



監事 秋葉 澄伯 印

監事 矢富 裕 印

監事 里見 進 印

2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上

監査報告書

2020年5月27日

一般社団法人日本医学会連合
会長 門田 守人 殿

一般社団法人 日本医学会連合

監事 岩尾 洋 印

監事 秋葉 澄伯  印

監事 矢富 裕 印

監事 里見 進 印

2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上

監査報告書

2020年5月27日

一般社団法人日本医学会連合
会長 門田 守人 殿

一般社団法人日本医学会連合

監事 岩尾 洋 印

監事 秋葉 澄伯 印

監事 矢富 裕  印

監事 里見 進 印

2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上

監査報告書

2020年5月27日

一般社団法人日本医学会連合
会長 門田 守人 殿

一般社団法人 日本医学会連合

監事 岩尾 洋 印

監事 秋葉 澄伯 印

監事 矢富 裕 印

監事 里見 進



2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度における一般社団法人日本医学会連合の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の状況等の報告を受け、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しています。

以上